

# 令和 3 年度 事務事業外部評価（案）

静岡市上下水道事業経営協議会

令和 4 年 7 月 8 日





政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「② 下水道管の耐震化」            «下水道維持課» [ a 評価]</p> <p>下水道管の耐震化について、重要な下水道管の耐震化を R3 計画「6.3km」に対し、「28.0km」の実績となった。</p> <p>具体的な取組として、下水道管の耐震化調査・設計及び工事を実施した。</p> <p>また、重要な下水道管の耐震管率は R3 計画「56.4%」に対し、「61.6%」の実績で 109.2%となったが、耐震診断した結果、耐震対策が不要となった管が想定を上回り、耐震対策不要延長が 20.5km となったため、評価は「 a 」とした。</p>	<p>「② 下水道管の耐震化」に対する評価            委員 13 名のうち、[ a 評価] 12 名            [ s 評価] 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これだけ計画を上回る実績を上げているので、当然「 a 」評価です。それでも巨大地震発生の事を考えると、被害抑制のためにできるならば前倒しの対策をお願いしたいです。</li> <li>・耐震対策不要延長に関わらず、実績値のみで評価しても良いのでは。【s】</li> <li>・耐震化の問題は、費用と人手がかかり大変ですが、目標どおりに進めてください。</li> <li>・災害時に下水道施設が使えなければ、上水道は通常のように使用できないので、今後も計画に沿って進めてください。</li> <li>・耐震対策が不要となった管路延長が増加したことが要因ではありますが、成果指標を柔軟に修正することは重要であると考えます。</li> <li>・耐震化の実績の数値に驚いたが耐震対策不要となった管が多かったということです。</li> <li>・今後も耐震診断を適正に行い、費用対効果の高い耐震化事業を進めてください。</li> </ul>	<p>[ a 評価]</p> <p>下水道管の耐震化について、計画どおりに進捗している。</p> <p>災害時に下水道施設が使えなければ、上水道は通常のように使用できないため、今後も計画どおりに着実に進めるよう努めること。</p> <p>なお、耐震対策不要延長に関わらず、単純な実績値で評価しても良いとして、「 s 」とする評価もあった。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「③ 水道施設の耐震化」            «水道基盤整備課» [ a 評価]</p> <p>水道施設の耐震化について、R 3 計画どおり「4,000 m<sup>3</sup>」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、草薙配水池の貯水量を、4,700 m<sup>3</sup>から 4,000 m<sup>3</sup>に減らす操作により、耐震性の確保と、R 4 年から R 5 年度に予定している、向敷地配水場配水池更新工事の詳細設計業務委託を行った。</p> <p>また、配水池の耐震化率は、R 3 計画のどおり「44.3%」となり、達成率は 100%となったため、「a」評価とした。</p>	<p>「③ 水道施設の耐震化」に対する評価            委員 13 名のうち、[ a 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>配水池で貯留できているかどうかは、災害時における市民生活に大きく影響するので、今後も計画に沿って進めてください。</u></li> <li>・<u>管路同様に市民への水供給に必要不可欠な配水池の耐震化率向上も着実に進めてください。</u></li> <li>・耐震化として貯水量を減らす操作により災害時の貯水量の確保につながるんですね。</li> </ul>	<p>[ a 評価]</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>水道施設の耐震化について、計画どおりに進捗している。</p> <p>災害時の水供給に大きな影響を及ぼすことから、今後も計画どおりに着実に進めるよう努めること。</p> </div>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>1 危機管理を強化する。</p> <p>(2) 浸水対策</p>	<p>「③ 雨水幹線・ポンプ場などの整備」          «下水道建設課» [b 評価]</p> <p>雨水幹線・ポンプ場などの整備について、雨水幹線・ポンプ場などの完了地区数は、R 3 計画「1 地区」に R 2 までに未達成であった「1 地区」を加えた「2 地区」に対し、「1 地区」となった。次に対策実施地区数は、R 3 計画「5 地区」に R 2 までに未達成であった「1 地区」を加えた「6 地区」に対し、「5 地区」であった。</p> <p>具体的な取組として、対策完了地区数は、R 2 までに未達成であった「小鹿三丁目」地区は、地元から当該工事区間の既設道路側溝の改修要望があり、道路改修工事との同調により遅れていたが、令和 3 年 5 月に完了した。</p> <p>しかし、対策完了予定であった「高橋雨水ポンプ場」は、建築基準法違反が覚知されたため、是正に要した期間の令和 4 年 1 月 21 日から 3 月 14 日まで工事を停止した。これにより、令和 3 年度末の供用開始が順延したため、対策完了地区の実績値は 1 地区となった。次に対策実施地区数は、「押切・石川新町」地区では、</p>	<p>「③ 雨水幹線・ポンプ場などの整備」に対する評価          委員 13 名のうち、[b 評価] 12 名          [a 評価] 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数字の上では「a」評価でも良いのですが、「高橋雨水ポンプ場」の事務事業事故は明らかに改善の余地があると思われるので、「b」評価やむなしというところでしょうか。</li> <li>・<u>事務事業事故はあったものの、浸水対策率の達成率を踏まえ、a 評価で良いかと思う。【a】</u></li> <li>・<u>引き続き浸水対策を進めてください。建築基準法が絡む工事は、ちょっとした内容の変更でも、建築主事に確認をとる必要があります、場合によっては工事中止期間も発生するので、今後同様な施設の建設時には、余裕を持った年次計画が必要と考えます。</u></li> <li>・<u>高橋雨水ポンプ場における事故を教訓として、今後の事業改善と法令遵守に期待します。</u></li> <li>・<u>異常気象による豪雨が年々増えており、雨水幹線・ポンプ場などの整備を進めていただくことが市民の生活を守ることに繋がります。事務事業事故の再発防止対策も講じているので、今後、順調に整備が進むことを望みます。</u></li> <li>・<u>コンプライアンス違反は事業の遅延を招き多大な損失となるので徹底していただければ幸いです。</u></li> </ul>	<p>[b 評価]</p> <p>雨水幹線・ポンプ場などの整備について、工事遅延は改善の余地があるとして、「b」評価とした。</p> <p>高橋雨水ポンプ場における事故を教訓として、再発防止の取組を着実に実施し、法令遵守を徹底するとともに、異常気象による豪雨による浸水被害から市民の生活を守るため、整備を着実に推進するよう努めること。</p> <p>なお、成果指標である浸水対策率の達成率を踏まえ、「a」とする評価もあった。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>雨水放流先の和田川について建設局の整備に合わせる必要が生じたため工事着手を見送っており、実績値は5地区となった。</p> <p>また、浸水対策率はR3計画「61.5%」に対し、「57.6%」の実績で、達成率は93.6%となり「a」評価であるものの、「高橋雨水ポンプ場」における事務事業事故は内的要因によるもので、工事遅延については改善の余地があると判断し「b」評価とする。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>浸水対策率では、R3計画「61.5%」に対し、「57.6%」の実績で、達成率は93.6%となり「a」評価であるものの、「高橋雨水ポンプ場」における事務事業事故は内的要因によるもので、工事遅延については改善の余地があると判断し「b」評価とした。</p>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>2 管・施設を効率的に運用する。</p> <p>(1) 管・施設の老朽化対策</p>	<p>「② 水道管の更新」          «水道管路課» [ b 評価 ]</p> <p>水道管の更新について、水道管（配水支管）の更新を R3 計画「21.4 km」に対し、「15.7 km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、配水支管の更新調査・設計・工事を実施した。</p> <p>また、管路の更新率は R3 計画「0.90%」に対し、「0.71%」の実績で、達成率は 78.9%となったため、「b」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>計画的に工事の発注を行ったが、入札不調により工事着手時期が遅れた事により、計画どおりに事業の完成ができなかった。</p>	<p>「② 水道管の更新」に対する評価          委員 13 名のうち、[ b 評価 ] 13 名</p> <p>・この実績値を見る限り、「b」評価ですね。R1 年度から R4 年度に向かって、計画が膨らんでいるので、頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>・<u>老朽管が更新されていけば、安定給水につながっていくので、取り組みを進めてください。</u> 相当な更新費用を必要とすると思われるので、その費用を十分に見込んだ料金としていく必要もあると思います。事後対応と割り切る部分をつくるのも一つの考え方かと思います。入札の不調・不落は頭の痛い問題であり、水道工事においても、工期の長さに応じた経費の算定が必要とされていると考えます。</p> <p>・<u>計画値未達成の原因である入札不調に関しては、発注方法を工夫して施工業者が受注しやすい環境を整えていることは評価できます。</u> 同様の課題を抱える事業者も多いかと思うので、近隣事業者や各種枠組みを通じた情報交換の場を活用することも一案と考えます。</p> <p>・令和 2 年度に引き続き「b」評価となっているため、入札不調は難しい課題かもしれないが、粘り強く対応していただきたいです。</p>	<p>[ b 評価 ]</p> <p>水道管の更新について、計画をやや下回っている。</p> <p>老朽化した水道管の更新は、安定給水につながることから、遅れの原因となる入札不調の改善を図る取組は評価できるが、継続的に検討・実施し、更新を計画的に進めるよう努めること。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「③ 下水道管の改築」            ≪下水道維持課≫ [a 評価]</p> <p>下水道管の改築について、下水道管の改築を「4.9km」に対し、「5.3km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、老朽化が進んでいる処理区のカメラ及び目視調査・設計及び改築工事を実施した。</p> <p>また、管きよ100km当たりの陥没箇所数は「0.4 箇所」に対し、「0.28 箇所」と目標を上回り、目標達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、「a」評価とした。</p>	<p>「③ 下水道管の改築」に対する評価            委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <p>・<u>老朽管が更新されていけば、排水処理の安定と道路通行の安心につながっていくので、取り組みを進めてください。</u></p> <p>・<u>経年劣化による影響は計り知れないものがあると思いますのでチェックもしっかりお願いします。</u></p>	<p>[a 評価]</p> <p>下水道管の改築について、計画どおりに進捗している。</p> <p>老朽化した下水道管の改築は、安定した排水処理と安心できる道路通行につながるため、今後も老朽化した管の調査・改築を計画的に進めるよう努めること。</p>
	<p>「④ 水道施設の更新」            ≪水道基盤整備課≫ [a 評価]</p> <p>水道施設の更新について、水道施設(設備)の更新数を R3 計画どおり「7 箇所」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、駿河区中央・遠方監視制御設備改良工事ほか 6 箇所を実施した。</p> <p>また、更新実施率は R3 計画どおり「19.8%」の実績で、達成率は 100%となったため、「a」評価とした。</p>	<p>「④ 水道施設の更新」に対する評価            委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <p>・特に、時間管理保全対象の電気設備については計画的に更新すべきであると思いますし、状態の悪い機械設備も水の需要量を勘案しながら更新していくべきだと思います。<u>半導体のほか、部品類の流通、供給が滞るなか、計画通りの工事を完成させているのは立派なことと思います。(S 評価でもいいくらい)</u></p> <p>・<u>計画どおりの成果が出ており、評価できます。引き続き着実な更新をお願いします。</u></p> <p>・評価します。</p>	<p>[a 評価]</p> <p>水道施設の更新について、計画どおりに進捗している。</p> <p>全国的に半導体や部品類の流通、供給が滞る中、計画どおりに進捗していることは評価できる。</p> <p>引き続き、着実な更新を進めるよう努めること。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「⑤ 下水道施設の改築」            «下水道施設課» [ a 評価]</p> <p>下水道施設の改築について、下水道施設の改築数を R3 計画「9 箇所」に対し、「9 箇所」実施した。</p> <p>具体的な取組として、城北浄化センターNo.5・6 最終沈殿池設備改築工事や愛染ポンプ場雨水沈砂池設備改築工事などを実施した。</p> <p>また、成果指標である改築実施率は R3 計画「16.2%」に対し、「18.8%」の実績で、達成率は前年度までの実績の影響により 116.0%となったが、R3 活動指標の下水道施設の改築数実績は計画どおりであったため、「a」評価とした。</p>	<p>「⑤ 下水道施設の改築」に対する評価            委員 13 名のうち、[ a 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このように今後も目標通り改築を進めていただき、近年の集中豪雨などに備えて道路の浸水などを防げるようにして頂きたいです。</li> <li>・特に、時間管理保全対象の電気設備については計画的に更新すべきであると思いますし、状態の悪い機械設備も排水の流入量を勘案しながら更新していくべきだと思います。<u>半導体のほか、部品類の流通、供給が滞るなか、計画通りの工事を完成させているのは立派なこと</u>と思います。（S 評価でもいいくらい）</li> <li>・評価します。</li> </ul>	<p>[ a 評価]</p> <p>下水道施設の改築について、計画どおりに進捗している。</p> <p>全国的に半導体や部品類の流通、供給が滞る中、計画どおりに進捗していることは評価できる。</p> <p>引き続き、着実な更新を進めるよう努めること。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「⑥ 水道管の漏水対策」          «水道管路課» [s 評価]</p> <p>水道管の漏水対策について、R3 計画「漏水調査：計 12 地区」に対して、「漏水調査：全 20 地区」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、漏水調査延長 2,214km に対し、配水管等で 248 箇所の漏水を発見し修繕した。</p> <p>また、管路点検率は R3 計画「52.7%」に対し、「84.7%」の実績で、達成率は 160.7%となったため、「s」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>漏水調査の対象を配水管に絞って発注したところ、発注した漏水調査業務の請負率が低く入札差金が出たので、計画地区数 12 地区を上回る市内全 20 地区の漏水調査を実施できた。</p>	<p>「⑥ 水道管の漏水対策」に対する評価          委員 13 名のうち、[s 評価] 13 名</p> <p>・<u>入札差金を使って、12 地区の予定を 20 地区に拡大できたのは賢明な判断だったと思います。</u>248 箇所の漏水を発見、修繕したという事で実績を上げており、「s」評価でよい。</p> <p>・<u>漏水量の軽減、有収率の向上、事故の抑制につながるので、引き続き取りくんでください。</u></p> <p>・<u>漏水は、早期発見・修繕が非常に重要ですので、全地区を調査できたことは評価できます。</u></p> <p>・<u>効率的な対策を評価します。</u></p>	<p>[s 評価]</p> <p>水道管の漏水対策について、計画を上回る実績であることを評価する。</p> <p>漏水対策は早期発見・修繕が非常に重要なため、入札差金を活用し、全地区調査できたことは評価できる。</p> <p>漏水対策は漏水量の軽減、有収率の向上、事故の抑制につながるのので、引き続き対策を進めるよう努めること。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>3 環境への負荷を軽減する。</p> <p>(2) 温暖化対策</p>	<p>〔① 自然エネルギーの活用〕          ≪水道施設課≫ [b 評価]</p> <p>自然エネルギーの活用について、R3計画どおり「導入可能性検討」を実施した。</p> <p>また、再生可能エネルギー利用率は、R3計画「0.16%」に対し「0.14%」の実績で、達成率は87.5%となった。次に温室効果ガス排出低減量は、R3計画値「103t」に対し、「72t」の実績で、達成率は69.9%となった。2つの成果指標を勘案し、「b」評価とした。</p> <p>(「a」以外となった理由等)</p> <p>令和3年8月に、南安倍配水場に設置されている太陽光発電設備2基のうち1基で、発電した電気を施設で利用する電力に変換する機械が故障し、自家消費する再生可能エネルギーの発電量が減少し、利用率が達成できなかった。</p> <p>令和3年12月に、西奈配水場の流入量を調整している電動弁に不具合が生じ、小水力発電設備に水を流すことができなくなり、発電量が計画を下回り、温室効果ガス排出量の低減につながらなかった。</p>	<p>〔① 自然エネルギーの活用〕に対する評価          委員13名のうち、[b 評価] 13名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然エネルギーの活用はとても大事な視点ですが、まだまだ難しい要素が含まれていますね。小水力発電についてあまり期待していなかったのですが、先日の東電の大規模停電を、小水力発電で回避できた様子を見ていて、大事な政策だと思いました。成果を上げてほしいと期待しています。</li> <li>・数字上は「b」評価であるが、<u>自然エネルギーは天候等の要因に左右されやすい</u>ため、<u>計画値どおりにならないのはある程度やむを得ない</u>のではないかと。</li> <li>・施設をつくれれば、維持管理と改築を伴い、当初の設置時には補助金が活用できても、改築時にはそれが無いこともあるので、<u>導入ありきでなく費用対効果などをよく検討してください。</u></li> <li>・<u>成果指標未達成の原因は設備の故障であり、修繕には長期間を要することから、令和4年度の目標達成に向けて懸念が残ります。</u></li> <li>・太陽光発電設備の故障修繕は半導体不足が影響しているんですね。</li> </ul>	<p>[b 評価]</p> <p>自然エネルギーの活用について、計画をやや下回っている。</p> <p>修繕には長期間を要することから、令和4年度の目標達成に向けて、懸念が残る。</p> <p>また、今後の導入に際しては、費用対効果を踏まえて検討を行うよう努めること。</p> <p>(評価に付随した意見)</p> <p>自然エネルギーは天候等の影響に左右されやすいため、計画値どおりにならないのはある程度やむを得ない。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「② 省エネルギー対策」  「水道総務課」 [c 評価]</p> <p>上下水道局庁舎等で使用するエネルギー量（以下、庁舎等使用エネルギー）は R3 計画「213kℓ」に対し、「204kℓ」の実績であった。庁舎内の昼休みや定時後不要箇所の消灯を実施した。庁舎内の照明器具は LED 照明を採用している。</p> <p>飲料水の年間生産に必要なエネルギー量（以下、飲料水生産エネルギー）は R3 計画「8,078kℓ」に対し、「8,311kℓ」の実績であった。具体的な取り組みとして、取水・送水ポンプ等の効率的な運用に努めた。</p> <p>下水の年間処理に必要なエネルギー量（以下、下水処理エネルギー）は R3 計画「12,869kℓ」に対し、「12,781kℓ」の実績であった。下水処理エネルギーでは、燃料化施設の運転や省エネ機器の導入を実施した。</p> <p>また、二酸化炭素排出低減量（平成 29 年度比）は、3 事業合計で R3 計画「214.8t」に対し、「-141.0t」の実績</p>	<p>「② 省エネルギー対策」に対する評価  委員 13 名のうち、[c 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数字で判断すると「c」評価であるが、<u>省エネに努める必要はあるものの、業務上やむを得ないところもあり、省エネには限界があるのではないか。</u></li> <li>・上下水では、<u>ポンプに係る電気使用の割合が大きい</u>ため、<u>省エネは苦手分野と</u>思われます。<u>建設工事に低炭素コンクリートの使用を検討するなど、小さな取り組みを積み重ねることが必要と</u>考えます。</li> <li>・職員のみならず一人一人の努力により、庁舎で使用するエネルギーが指標を上回っていることを評価します。各施設にエネルギー管理員を置き、さらなる効率化を図るとのことですが、<u>これ以上の大幅な削減は厳しいかもしれませんが、公営企業の責任として見直せるところがあれば実行していただきたいです。</u></li> <li>・協議会のなかで「省エネ対策は、市民の意識が大事。」との発言がありました。地域貢献の企画のなかにぜひ組み入れてください。</li> <li>・二酸化炭素排出低減に向けてさらなる努力を望みます。</li> </ul>	<p>[c 評価]</p> <p>省エネルギー対策について、計画を大きく下回っている。</p> <p>省エネルギーに努める必要はあるものの、上下水道事業の性質上、これ以上の大幅な削減は難しいことは理解できる。</p> <p>しかし、公営企業の責任として、改善可能な箇所については、引き続き検討・実施するよう努めること。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>で、目標達成に向けて、成果が出ていないため「c」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●飲料水生産エネルギー <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年7月から自然流下方式で地区配水していた中町浄水場を廃止し、清水谷津浄水場からのポンプ圧送方式による地区配水に運用変更を行っている。その影響により、電力消費量を削減できない状況が続いているため、温室効果ガス排出量の低減につながらなかった。</li> </ul> </li> </ul>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>4 お客様サービスを向上させる。</p> <p>（1）安全でおいしい水の安定的な供給</p>	<p>「① 水道管の整備・充実」          «水道管路課» [ b 評価 ]</p> <p>水道管の整備・充実について、R3計画「2.7 km」に対し、「2.0 km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、送水管、配水支管の新設調査・設計・工事を実施した。</p> <p>成果指標である管路の新設率はR3計画「0.10%」に対し、「0.08%」の実績で、達成率は80.0%となったことから、「b」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>水道管新設工事は、計画「2.7km」をR3年度内に完成させる予定だったが、R4年1月のメーカーによる水道管塗料の不適切行為により、日本水道協会から安全性が確認されるまで、配管材料の使用中止の通知があり、該当する配管材料に関するメーカーと日本水道協会の確認作業に不測の時間を要したことから、計画どおりに事業の完成ができなかった。</p>	<p>「① 水道管の整備・充実」に対する評価</p> <p>委員 13 名のうち、[ b 評価 ] 12 名          [ a 評価 ] 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メーカーによる水道管塗料の不適切行為という不測の事態が発生したとのこと、<u>仕方がないではなく、余裕を持たせた計画を立てていくという緊張感も必要だ</u>と思います。</li> <li>・不測の事態の発生を予測するのに、納期や工期以外にメーカーの製品の安全性は想定外で、新設工事の遅れは仕方ない。</li> <li>・塗料メーカーの不適切行為は事故であり、完成日に余裕を持たせたところで、対応できるとは思えません。<u>影響を受けた工事を分母から除いて、計画通りの進捗と考えてよいと考えます。【a】</u></li> <li>・活動指標未達成が、本協会の認証品塗料の不適切行為に起因するところであるため大変心苦しく感じております。こうした<u>不測の事態に備え、可能であれば資材の調達先を複数確保しておくことも必要ではないか</u>と考えます。</li> <li>・メーカーの不適切行為により、工程が止まってしまったとのこと、予期せぬ出来事にも工期が狂わされてしまうのは、ご苦労が多いなと思いました。</li> <li>・日本水道協会から使用中止の通知があり遅延したのは致し方ないと思う。今後に期待する。</li> </ul>	<p>[ b 評価 ]</p> <p>水道管の整備・充実について、計画をやや下回っている。</p> <p>塗料メーカーによる水道管塗料の不適切行為が遅延要因だが、不測の事態に備え、余裕を持った計画の設定や可能であれば複数の資材調達先の確保など、緊張感を持って業務に取り組むように努めること。</p> <p>なお、影響を受けた工事を分母から除いて、計画通りの進捗と考えてよいとして、「a」とする評価もあった。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>4 お客様サービスを向上させる。 （3）接客・窓口サービスなどの充実</p>	<p>「③ 地域貢献」 «水道総務課» [c 評価]</p> <p>地域貢献について、地域貢献活動回数を R3 計画「20 回以上」に対し、「12 回」実施した。</p> <p>具体的な取組として、①高齢者等見守り支援 1 回 ②庁舎周辺美化活動 3 回 ③上下水道フェア（市 HP 代替企画）1 回 ④水道・下水道施設見学会 7 回の計 12 回を実施した。</p> <p>また、地域貢献参加職員数は R3 計画「1,000 人以上」に対し、「660 人」の実績となった。</p> <p>前年度より続くコロナ禍において、多くの対面の事業が実施できず、上下水道フェアも、当初上下水道局庁舎を会場に地元七間町名店街とも連携した取組も進めていたが、感染症拡大防止のため直前で中止となった。しかしながら、上下水道フェアについては急遽市 HP を活用したオンラインの代替企画「おうちで上下水道フェア」を開催し、少しでも当初の計画を形にするよう対応することができた。また、感染拡大状況を見据え実施可能な活動をタイム</p>	<p>「③ 地域貢献」に対する評価</p> <p>委員 13 名のうち、[c 評価] 9 名 [b 評価] 4 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道フェアを楽しみにしていた一人として、地域貢献活動が思うように推進できなかったことは残念です。ただ、<u>コロナ禍も 3 年目に入り、これまでと全く同じ活動を目指しても仕方がないので、新たな地域貢献活動を生み出して、市民との信頼関係の構築に頑張ってくださいと希望します。</u></li> <li>・コロナ以前のイベントでは、上下水道局の職員の皆さんが一丸となって市民に対し広報の徹底が可能な最大のチャンスであった。<u>コロナによりオンラインに変わり、イベントを充実させることは困難となった。評価はコロナの外的要因が大きい</u>ため、「b」としたい。【b】</li> <li>・数字のみで判断すれば「c」評価は妥当である。ただし、<u>そもそも回数と参加職員数で評価することが適切であるかどうかについて検討する必要がある。</u>地域貢献は必要なかもしれないが、それは水道局として本来やるべきこととかけ離れたものであるべきではない。また、フェア等は休日に開催されることも想定され、職員は休日出勤する必要がある。回数と参加職員数を指標とした場合、目標を達成するためには職員の休日出勤を増やすことにもなりかねない。このことは労基法上の問題となる可能性があるし、ワークライフバランスの観点からも問題があると思う。地域貢献について根本的に見直す必要があるのではない</li> <li>・<u>コロナ禍での地域貢献活動の実施について、計画を達成できなかったことはやむを得ない。</u>【b】</li> <li>・コロナの影響を受けており、人を集める取り組みは評価が困難と考えます。</li> <li>・こうした状況下においても、工夫して地域貢献を実施していることを評価します。特に、感染症対策では、調整や準備に苦心されたのではないかと拝察しま</li> </ul>	<p>[c 評価]</p> <p>地域貢献について、計画を大きく下回っている。</p> <p>コロナ禍も 3 年目に入り、社会活動の中でもオンラインの取組がかなり増えている。地域貢献活動から、上下水道事業を知る機会につながることから、今までと同様の取組でなく、新たな地域貢献活動を生み出し、市民との信頼関係の構築に努めること。</p> <p>なお、前年度より実績が向上したことや、コロナ禍での地域貢献活動の実施について、計画を達成できないのは致し方ないこととして、「b」とする評価もあった。</p> <p>(評価に付随した意見)</p> <p>本事務事業の各指標として設定している「地域貢献の活動回数」と「その参加職員数」で評価をすることが適切であるか検討する必要がある。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>グよく実施（美化活動（R2：1回→R3：3回））するとともに、感染対策を徹底し対応可能な活動（施設見学（R2：5回→R3：6回））を取入れるなど、活動の見直しも図ったが、ライフライン事業者として事業の安定運営を守るため、参加職員数を制限するなど対策を徹底したことなどから、目標には届かず達成率は、66.0%となったため、「c」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）            新型コロナ感染予防のために、対面型となる地域貢献活動を縮小及び中止する必要があり、地域貢献活動回数及び参加職員数が大幅に減少した。</p>	<p>す。活動指標・成果指標ともに未達ですが、<u>前年度より実績が向上し、また、職員のみなさんのモチベーション維持のためにも本評価としました。</u>令和4年度活動指標の計画値は変更なしの「20回以上」となっていますが、目標達成のために開催回数をこなすのではなく、内容を重視し、計画値の変更など柔軟に対応することも重要かと思えます。【b】</p> <p>・コロナ禍において、学校関係の活動方法も変わってきています。次男が通う大学では、対面で行っていた保護者会がなくなり、オンライン開催が主流になってきました。この状況は数年続くと思われる。オンラインで開催する利点は関心のある人が自宅から気軽に参加できることです。<u>オンラインでのイベントを毎年、少しずつ増やしてはいかがでしょうか。小中学生の夏休みに行くなど、方法を模索してみてください。周知の方法も、工夫が大切です。オンラインのイベントを通じて、水道局の取り組みを知る市民が増えることを願います。</u></p> <p>・<u>コロナ禍により致し方ないと思う。【b】</u></p>	

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>4 お客様サービスを向上させる。 （４）市民参画の推進</p>	<p>〔② 協働事業の検討・実施〕 «水道総務課» [ c 評価 ]</p> <p>協働事業の検討・実施について、協働事業の件数（各種事業に協力した団体数）を R3 計画「10 件」に対し、「8 件」実施した。</p> <p>具体的な取組として、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった上下水道フェアは代替企画「おうちで上下水道フェア」として市 HP 上でオンラインで実施するとともに、水道週間で特別講座を実施するなど、市民等との協働事業を行った。</p> <p>また、イベント等来客数について、特に上下水道フェアは、初めて上下水道局庁舎を会場として、地元七間町名店街とも連携をしながら準備を進めていたが、開催直前にコロナ禍で中止となった。しかし当初の計画を形にできるよう、市 HP を活用したオンラインの代替企画を進めるとともに、チラシ作成、報道への投げ込みや市公式 SNS の活用など短期間ではあるが可能な限りの広報に努め代替企画の周知に努めた。結果として R3 計画「5,000 人」に対し、オンラインでの代替企画「おうちで上下</p>	<p>〔② 協働事業の検討・実施〕に対する評価 委員 13 名のうち、[ c 評価 ] 11 名 [ b 評価 ] 2 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で上下水道フェアなどが中止となり、急きょオンラインでの実施になるなど大変な思いをされてきたことはよくわかります。「c」評価は厳しいかなと思いますが、<u>ここから前を向いて新たな取り組みに挑戦して欲しいです。</u></li> <li>・<u>評価はコロナという外的要因のため、「b」評価としたい。あるいは評価不可ととらえたい。【b】</u></li> <li>・<u>直前でのオンライン上下水道フェアの周知であったのも、コロナの状況を見極めたためであり、せっかくの企画が閲覧者数 1,706 人と少なかったのは残念です。【b】</u></li> <li>・コロナの影響を受けており、人を集める取り組みは評価が困難と考えます。</li> <li>・<u>同政策内「施策（３）接客・窓口サービスなどの充実」の「③地域貢献」と同様に、活動指標や成果指標の数値目標だけでなく、コロナ禍においては実施内容を重視し評価することも一案かと思えます。上下水道フェアの中止により、短い期間でのオンライン開催への移行は大変だったかと思いますが、<u>現下のリアルイベントの開催の不透明さに鑑みると、開催できなかった場合の保険として、当初からリアルとオンラインのハイブリッド型のイベントの検討の余地があったのではないかと考えます。</u></u></li> <li>・<u>駿河総合高校の生徒が制作した水道事業の動画を見たいです。今後、学生と協働する企画もお願いしたいです。子どもたちが関わると、大人も子どもも関心をもって見てくれると思えます。</u></li> <li>・オンラインで参加できる人は限られているのでその辺の工夫が求められる。</li> </ul>	<p>[ c 評価 ]</p> <p>協働事業の検討・実施について、計画を大きく下回っている。</p> <p>コロナ禍を踏まえると、今まで市民と直接関わって実施していた事業への影響は避けられない。そこで、リアルとオンラインのハイブリッド型のイベントなど、新たな取組を検討・挑戦していくことも必要である。</p> <p>なお、コロナ禍という外的要因のため、計画を達成できないのは致し方ないこととして、「b」とする評価もあった。</p> <p>(評価に付随した意見)</p> <p>「政策４ 施策（３）③地域貢献」と同様に、活動指標や成果指標の数値目標だけでなく、コロナ禍においては実施内容を重視し評価することも一案かとする。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>水道フェア」へのアクセス数 1,006 回を含めて「1,706 人」となり、達成率は 34.1%となったため、「c」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>計画していた協働事業の主なイベントである上下水道フェアが、新型コロナウイルス感染症の感染急拡大を受け直前で中止となった。そのため、内容を引き継ぐ形でホームページ上での代替イベント開催を短期間で企画するとともに、チラシ配布や市HP・SNSを活用した広報を行ったが、周知期間が十分とれなかったこともあり計画どおりの参加者（閲覧者）数が得られなかった。</p>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>5 信頼される経営を確立する。</p> <p>(2) 職員の技術習得</p>	<p>「① 各種研修の充実」</p> <p>«水道総務課» [ b 評価 ]</p> <p>各種研修の充実について、技術・事務の専門研修への派遣を R3 計画「135 人」に対し、「84 人」派遣した。次に、契約事務・法務等の内部研修の受講を R3 計画「350 人」に対し、「323 人」受講した。さらに、新採職員・転入者に向けた基礎研修の実施を R3 計画どおり「2 回」実施した。加えて、技術系職員に向けた ICT 研修の開催を R3 計画どおり「3 回」開催した。</p> <p>具体的な取組として、日本水道協会、日本下水道事業団等主催の研修への派遣、上下水道局コンプライアンス研修等の受講、上下水道局転入職員研修等の実施、デジタル技術活用研修等を開催した。</p> <p>なお、水道技術に関する資格取得度は R3 計画「1.6 件/人」に対し、「1.5 件/人」の実績で、達成率は 93.8%となった。次に水道部と下水道部両部の外部研修時間は R3 計画「8.5 時間/人」に対し、「5.1 時間/人」の実績で、達成率</p>	<p>「① 各種研修の充実」に対する評価</p> <p>委員 13 名のうち、[ b 評価 ] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での研修の実施には困難もあったと思いますが、水道技術に関する資格取得度はほぼ達成されているとのこと、「b」評価ですが、今後とも頑張ってください。</li> <li>・コロナの影響を受けており、出張人数での評価は困難と考えます。<u>研修を受講した時間が成果指標とされていますが、成果であるのか疑問です。</u></li> <li>・<u>外部研修の成果指標未達成は、外的要因によりやむを得ないと考えますが、内部研修は成果指標を達成することを期待します（コロナ対策のため、平常時よりも運営が困難であると拝察しますが）。</u></li> <li>・内部研修時間は充実しているようですね。</li> </ul>	<p>[ b 評価 ]</p> <p>各種研修の実施について、計画をやや下回っている。</p> <p>外部研修の成果指標未達成は、外的要因によりやむを得ない。内部研修についてはコロナ対策を十分に徹底し、達成するように努めること。</p> <p>(評価に付随した意見)</p> <p>研修を受講した時間が成果指標としているが、これが成果であるかは疑問を感じる。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>は 60.0%となった。さらに水道部と下水道部両部の内部研修時間は R3 計画「9.6 時間/人」に対し、「9.2 時間/人」の実績で、達成率は 95.8%となった。3 つの成果指標を勘案し、目標達成に向けて、成果が出ていない部分もあることから、「b」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）            新型コロナウイルス感染防止のために外部研修については、多くの研修が中止となったうえに開催されたとしても規模の縮小がなされ計画どおりの受講ができなかった。</p>		
<p>5 信頼される経営を確立する。            （3）財政の健全化</p>	<p>「① 新たな収入の確保」            «経営企画課» [c 評価]</p> <p>新たな収入の確保について、長期債券購入額を R3 計画どおり、水道は「2 億円」、下水道は「11 億円」購入した。また、新たな収入の検討を R3 計画どおり「資産の有効活用検討」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、長期債券購入では、水道事業では 10 年満期の地方公募債を約 2 億円で購入、下水道事業では 20 年満期の地方公募債など計 11</p>	<p>「① 新たな収入の確保」に対する評価            委員 13 名のうち、[c 評価] 12 名            [b 評価] 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>長期債券の購入と、庁舎駐車場の有料貸し出しについては難しい取り組みです。粘り強く頑張ってください。</u></li> <li>・<u>駐車場貸し出し等についても公益性のある有料貸し出しを考慮されたい。（地域の活性化に貢献できるような）</u></li> <li>・<u>「借りてみてはどうですか」の働きかけは、いい取り組みだと思います。</u></li> <li>・<u>新たな収入の確保は企業債を減額していくためにも喫緊の課題です。</u></li> </ul>	<p>[c 評価]</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>新たな収入の確保について、計画を大きく下回っている。</p> <p>受け身ではなく、こちらから積極的に働きかけていく姿勢は評価できる。</p> <p>庁舎駐車場の有料貸し出しについては難しい取組ではあるが、財源の確保につながるため引き続きの検討・実施に努めること。</p> </div>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>億円で購入した。新たな収入の検討では、令和2年度に契約解除となった庁舎駐車場の有料貸し出しについて、公募条件を見直し、再公募を実施した。</p> <p>成果指標である利益収入増加額としては、水道事業では、R3計画「1,450千円」に対し、「1,304千円」の実績で、達成率は89.9%、下水道事業ではR3計画「2,601千円」に対し、「2,456千円」の実績で、達成率は94.4%となった。新たな収入額としては、再公募が契約に至らなかったため、R3計画「7,154千円」に対し、実績はなく、達成率は0%であった。</p> <p>計画値と実績値の総額による達成率が33.5%であるため「c」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>成果指標のうち、新たな収入の検討における「庁舎駐車場賃貸借」について、計画ではR2年度の契約年割額7,154千円を計上したが、新型コロナウイルスによる収益性の低下を理由に年度途中での契約解除となり、新たに公募したものの契約に至らず実績は0円となった。</p>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「② 企業債残高の適正な管理」            «下水道総務課» [a 評価]</p> <p>企業債残高の適正な管理について、水道事業の企業債借入額及び元金償還金が R3 計画「38 億円」及び「24 億円」に対し、「26 億円」及び「24 億円」となった。次に下水道事業の企業債借入額及び元金償還金が R3 計画「94 億円」及び「105 億円」に対し、「86 億円」及び「105 億円」となった。</p> <p>具体的な取組として、借入と償還を計画的に行い、企業債への過度な依存とならないよう適正な管理を実施した。</p> <p>また、水道事業の年度末における企業債残高は、R3 計画「455 億円」に対し、「443 億円」の実績で、達成率は 102.7%となった。次に下水道事業の年度末における企業債残高は、R3 計画「1,428 億円」に対し、「1,420 億円」の実績で、達成率は 100.6%となった。2 つの成果指標を勘案し、目標達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、「a」評価とした。</p>	<p>「② 企業債残高の適正な管理」に対する評価            委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <p>・<u>固定経費が多いと、運転の工夫が費用の節減に生きてこない</u>ので、<u>企業債残高を減らしていく取り組みを続けてください。</u></p> <p>・評価します。</p>	<p>[a 評価]</p> <p>企業債残高の適正な管理について、計画どおりに進捗している。</p> <p>固定経費が多いと、運転の工夫が費用の節減に生きてこないため、企業債残高の減少を目指し、引き続き適正な管理に努めること。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「④ 適正な債権管理」  「お客様サービス課」 [ a 評価 ]</p> <p>活動指標の実施内容上段の「水道料金・下水道使用料の使用者に対する現住所等調査」を、R3計画「1,800件以上」に対し、「1,895件」実施した。</p> <p>中段の「受益者負担金における滞納歴が浅い人への重点督促」をR3計画「1回以上」に対し、「1回」実施した。</p> <p>下段の「受益者負担金滞納者への強制徴収」を、R3計画どおり実施した。</p> <p>次に成果指標の指標名上段の「水道料金未収金」は、R3計画「204,175千円」に対し、「202,104千円」の実績で、計画値より未収金を1.0%削減した。</p> <p>中段の「下水道使用料未収金」は、R3計画「200,656千円」に対し、「194,975千円」の実績で、計画値より未収金を2.8%削減した。</p> <p>下段の「過年度受益者負担金収納率」は強制徴収を実施した結果、R3計画「12.01%」に対し「28.50%」の実績で、達成率は飛躍的に向上し237.3%となった。</p>	<p>「④適正な債権管理」に対する評価  委員13名のうち、[ a 評価 ] 13名</p> <p>・<u>反発が大きいと想像される強制徴収の実施には頭が下がります。コロナ禍で人それぞれ事情が異なるとは思いますが、公平な観点を持って取り組みを進めてください。</u></p> <p>・<u>過年度受益者負担金の強制徴収は、事務量の増加や使用者との調整等、大変な業務と拝察します。しかし、使用者間の公平性の観点からも引き続き粘り強く対応に当たっていただければと思います。</u></p> <p>・評価します。</p>	<p>[ a 評価 ]</p> <p>適正な債権管理について、計画どおりに進捗している。</p> <p>過年度受益者負担金の強制徴収を実施したことは評価できる。</p> <p>使用者間の公平性の観点から、継続実施に努めること。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>3つの成果指標のうち「水道料金未収金」が5%未満の削減であるため「a」評価とした。</p> <p>「⑤ 収納率の向上」  「お客様サービス課」 [a 評価]</p> <p>活動指標の実施内容上段の「給水停止予告通知書発送」をR3計画「19,000通」に対し、「17,077通」実施した。</p> <p>中段の「受益者負担金一括納付の勧奨」を、R3計画どおり「3回」実施した。</p> <p>下段の「申告書提出督促実施」をR3計画どおり「1回」実施した。</p> <p>なお、給水停止予告通知書発送について、実績値が計画値を下回る結果となった要因は、緊急事態宣言の発出により9月の給水停止予告通知書の発送中止及び給水停止に至る前の現年催告の強化実施により給水停止予告通知書発送対象者が削減したことによる。</p> <p>次に成果指標の指標名上段の「水道料金収納率」はR3計画「99.16%」に対</p>	<p>「⑤ 収納率の向上」に対する評価  委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <p>・緊急事態宣言が発出された状況下で、<u>市民納得のもとに料金徴収がこれだけできていれば素晴らしいことと思われ</u>ます。</p> <p>・評価します。</p>	<p>[a 評価]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>収納率の向上について、計画どおりに進捗している。</p> <p>緊急事態宣言下で市民納得のもと、高い割合で徴収できていることは評価できる。</p> </div>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>し、「99.10%」の実績で、達成率は99.9%となった。</p> <p>中段の「下水道使用料収納率」はR3計画「99.10%」に対し、「99.11%」の実績で、達成率は100%となった。</p> <p>下段の「受益者負担金収納率」はR3計画「93.62%」に対し、「95.56%」の実績で、達成率は102%となった。</p> <p>3つの成果指標を勘案し、「a」評価とした。</p>		